

## 神流川流域の概要

神流川は、群馬・長野・埼玉3県の県境、三国山に源を発し、流域面積407,0km<sup>2</sup>、幹線流路延長87,4km、平均河床勾配は1/20と、利根川上流の支川の中では比較的急峻です。神流川流域は群馬県の南西部に位置し、狭隘な地域を縫うように流下する神流川に沿って集落が点在しています。流域には関東一の鍾乳洞である不二洞、太古の恐竜の足跡の化石、三波石峡など観光資源が多いです。神流川流域の直轄事業区域としては、上野村・神流町・藤岡市(旧鬼石町)が含まれます。



## ☆小学生砂防施設見学会が6月4日(木)と6月25日(木)に行われました。

参加して頂いたのは、万場小学校4年生6名と上野小学校4年生7名です。

群馬県藤岡市譲原にある「譲原地すべり防災センター」と埼玉県児玉郡神川町にある「下久保ダム」を見学しました。

実物の集水井を見たり、下久保ダムの中に入ったり、下久保ダムを真下から見上げたりして、地すべりとダムについて、勉強してもらいました。



地すべり対策の説明



集水井内部



下久保ダム放流口下

## ☆譲原地すべり防災センターにて防災訓練実施

(譲原地すべり資料館カッピ一)

群馬県藤岡市譲原1722-1

電話:0274-52-4225

・平成21年6月7日(日)

譲原地すべり防災センターを一次避難場所とした、  
藤岡市との防災訓練が実施されました。



①住民の避難状況



②住民によるアンケート状況



③非常食の炊き出し訓練・試食



④反省会の状況

## ☆砂防工事のご紹介

・譲原地すべり対策(藤岡市譲原地先)

譲原地区では地すべり対策の抑制として、地下水を抜くための集水井を(しゅうすいせい)を建設しています。

又、地すべり対策等を行うための工事用道路工事も行っています。



☆譲原地すべり諸元	
地すべり防止区域	約100ha
幅	約2,000m
奥行き	約800m
すべり面深度	最大約50m
移動土砂量	約2,000万m <sup>3</sup>

工事を行うにあたりましては、引き続き地域住民の皆様方のご理解と御協力をよろしくお願い致します。

工事諸元		
工 事 名	工 期	工 事 内 容
H20下久保地区集水井(D8. D11)工事	H20. 10. 1~H21. 8. 31	集水井2基設置 横ボーリング2箇所
H21下久保工事用道路工事	H21. 4. 25~H21. 10. 20	アスファルト舗装工2,730㎡
H21下久保柳沢排水路工事	H21. 5. 2~H21. 12. 18	水路工 376m

### 創刊にあたって

広報「万場だより」は神流川流域における皆様をはじめ、多くの方々に砂防事業について知ってもらう機会として創刊致しました。定期的に砂防に関する行事や工事施工情報など提供して行きたいと思っておりますので、ご意見などありましたら出張所まで連絡願います。

(問い合わせ先) 0274-57-2049